ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

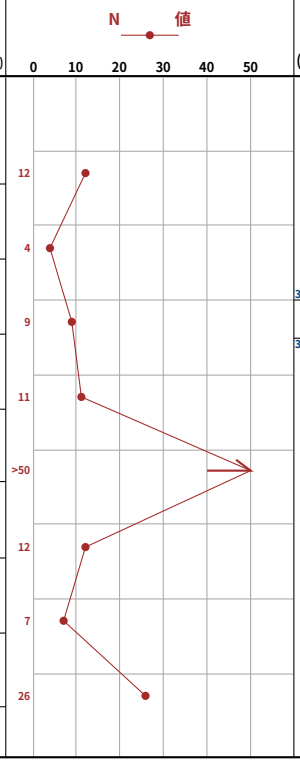
シートNO.

ボーリング名	No.B-5	調査位置				北　緯	36 ° 20 ' 19.0000 "
発注機関	栃木県 栃木土木事務所			調査期間	2009-07-07 ～ 2009-07-08	東　経	139 ° 50 ' 14.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	40.25 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	38.75	1.50	1.50		盛土	暗褐	中ぐらい		礫混じりシルト。 玉石，コンクリート塊が介在する。 0.9m付近より砕石が多い。		07/01 1.83
	37.85	0.90	2.40		有機質シルト (MO)	黒褐		軟らかい	軟らかい。腐植物が混じる。 2.1m付近より砂分が混じる。		
	35.75	2.10	4.50		粘土混じり砂礫 (GS-C)	青灰～暗青灰	密実でない礫		緩い。 径2～30mm程度の亜円～円礫主体。 上部は粘土分が多い。 4.3m付近より砂分が多い。		
	34.05	1.70	6.20		礫混じり粗砂 (CS-G)	暗緑灰	非常に密な		概ね密。所々固結する。 径2～10mm程度の円礫が混じる。 4.9m付近より粘土分が混じる。		
	33.45	0.60	6.80		シルト (M)	淡褐		硬い	中くらい。 所々に微細砂が少量混じる。		
	32.05	1.40	8.20		砂混じりシルト (M-S)	青灰	緩い	中くらい	所々、微細砂の薄層を挟む。		
	31.80	0.25	8.45		シルト混じり細砂 (FS-M)	暗灰	中ぐらい		シルト分が不規則に混じる。 8.4mより細礫が混じる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	5	3	12／30	12
1.45					
2.15	1	1	2	4／30	4
2.45					
3.15	3	3	3	9／30	9
3.45					
4.15	5	3	3	11／30	11
4.45					
5.15	18	18	14／8	50／28	>50
5.43					
6.15	5	4	3	12／30	12
6.45					
7.15	2	2	3	7／30	7
7.45					
8.15	3	8	15	26／30	26
8.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
3.00	透水試験 5.87E-03
3.50	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
1.50	5	
2.30		

室内試験

掘進月日